

## 4. コラム — 産業保健相談員から —

業保健相談員 立身 政信

大化の改新で有名な中大兄皇子（後の天智天皇）の嫡男である大友皇子が若くして弘文天皇となったものの、天智天皇の弟つまり叔父である大海人皇子（後の天武天皇）に滅ぼされたのが壬申の乱。天智天皇の娘で天武天皇（つまり父を滅ぼした叔父）の妻となり、息子草壁皇子を後継に推すも皇子の早世（28歳）で自ら女帝となったのが持統天皇。草壁皇子の子である軽皇子が15歳で譲位を受け文武天皇となるものの、またしても若くして崩御（25歳）。その後を継いで女帝元明天皇となったのが母親の阿部皇女であった。彼女は天智天皇の娘であり、弘文天皇や持統天皇の妹にあたる。元明天皇の後継は娘の元正天皇である。不敬な物言いが、ゴチャゴチャである。近親婚による先天異常も多々あったものと推察される。持統、元明、元正と女帝が活躍するのも特徴的である。

天武天皇は、壬申の乱を起こしたことで、皇室がこのような不安定な状態になることを予測したのであろうか、天皇家の正当性を示す歴史書の編纂に乗り出した。編集者に抜擢されたのが若い（当時28歳）稗田阿礼である。彼女（「彼」かもしれない）は高機能の自閉症スペクトラムにあったのかもしれないが、とんでもない記憶力を持っており、天武天皇の語る昔話を克明に記憶していった。完成した「古事記」によれば、稗田阿礼は天照大神を天岩戸から引き出すために舞い踊った、あのアメノウズメの子孫にあたるのだという。

天武天皇は志半ばにして686年に崩御、その遺志を継いだのは708年に即位した元明天皇であった。彼女は古事記編集者に太安万侶を抜擢した。稗田阿礼は天武天皇から伝え聞いた日本の成り立ちを太安万侶に伝承し、二人で古事記編纂に邁進したのだろう。

さて、その「古事記」であるが、全篇読破とはいかずとも、天照大神が弟の須佐之男命の乱暴に手を焼いて天岩戸に隠れてしまった話や、天上界から追放された須佐之男が八岐大蛇を退治して草薙剣とクシナダヒメを勝ち取った英雄譚はご存知の方が多いと思う。やがて神々が高天原から地上界に降りてくることになるのだが、その環境を整えるために大国主命が活躍する。因幡の白兔で知られるように優しい神なのだが、大国主は天上界の指示を受けた神ではなく、出雲の国の神として天上界に抵抗する。そこには黄泉の国の神となっていた須佐之男の影が見え隠れする。大国主の息子が最後の抵抗を見せるのだが、諏訪の地に追い込まれて降参する。諏訪の御柱祭は縄文時代から続いているということだが、古事記に見る大国主の神話は縄文と弥生の戦いと和合を表わしているようだ。この後、天照大神の孫である番能邇邇芸命（ホノニギノミコト：豊饒な稲穂の意）が、あのアメノウズメの他、様々な技術を持つ神々と共に日向の高千穂に降りて来る。天孫降臨である。ニニギは山神（オオヤマツミ）の娘である木花之佐久夜毘売（コノハナノサクヤビメ）を娶るが、山神が勧めた姉の岩長姫は戻してしまう。山神は「子孫が元気で長生きするようにと一組で差し上げたのに、これでは木の花が散るように子孫は短命となるでしょう。」と嘆いたという。さて、ニニギとサクヤビメの子は三兄弟だったが、その長男が海幸彦、三男が山幸彦である。兄から借りた釣り針を失くして海中の竜宮に探しに行く山幸彦は浦島太郎を彷彿とさせる。乙姫様にあたるのが海神（ワタツミ）の娘である豊玉姫である。3年後に地上に戻った山幸彦は、海神の支持もあって兄を従えるようになり、国を治めることになる。山幸彦と豊玉姫の子は豊玉姫の妹玉依姫と結婚し、生まれた4人の御子達の末子が神武天皇である。古事記は、神代（上巻）から人代（中・下巻）に移っていく。

ところで、豊玉姫の出産にあたり、絶対に見てはいけないという姫の言葉を裏切って産室を覗いてしまった山幸彦の目に映ったのは、のたうち回る巨大なサメの姿であった。その姿を見られてしまった豊玉姫は、竜宮へと帰っていった。鶴の恩返しを彷彿とさせる話であるが、似たような話が古事記の始まりの部分にも見られる。国生みの神イザナキとイザナミの話である。日本の国土（大八島）を造り、自然界に必要な神々を生む中で、火神を生んだイザナミは命を落とし、黄泉の国へと隠れる。イザナキは黄泉の国を訪ねて連れ帰ろうとするが、イザナミは黄泉の神と相談するので、その間御殿の内を絶対見てはいけないと言う。しかし、待ちきれずに覗いてしまったイザナキが見たものはイザナミの腐乱死体であった。恐ろしくなったイザナキは逃げ出すが、怒ったイザナミは魔物を遣って追い掛ける。イザナキは逃げながら最後は桃を投げて防戦する。この桃が「桃太郎」の話につながったと言われるし、「山姥と三枚のお札」等も連想される。黄泉の国を抜け出る所でイザナミは追撃を諦めるが、「愛する夫よ、こんなしうちをするのなら、私はあなたの国の人間を一日千人殺してやる。」と宣告した。これに対してイザナキは、「愛する妻よ、それなら私は一日に千五百の産室を建てよう。」と答えたのである。こうして、日本は特別な災害等を除けば、着実に人口が増加する国となったのである。それから何年経ったのだろう。今、特別な災いも無いのに、日本の人口は確実に減少する時代を迎えている。いや、長い歴史の中で見れば、先の戦争という異常な事態の後始末がしばらく続くだけなのかもしれない。

# 岩手産業保健総合支援センターだより

平成30年4月1日発行 No.33

新年度になり、最初のセンターだよりです。

ストレスチェック制度施行以来、メンタルヘルス対策で多数の御利用をいただいておりますが、当センターでは、事業場を訪問させていただいての化学物質や粉じんなどの有害物質対策に関する相談支援や、労働者の健康診断有所見率の改善に関する相談支援にも応じております。

今年度はそれらへの体制の充実も図って参りますので、是非ご利用ください。

研修会へのご参加もお待ちしております。

## INDEX

1.研修会の開催予定

2.研修会の様子

3.ご利用案内

4.コラム - 産業保健相談員から -

## 1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、電話019-621-5366/FAX019-621-5367  
又はホームページ（<http://www.iwates.johas.go.jp/>）のメールフォームからどうぞ。

## 4月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
4月23日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	<b>労働衛生対策等研修</b> テーマ：メンタルヘルス対策1 ①メンタル不調者への対応方法について 講 師：産業保健相談員 山田 恵子【看護師、産業カウンセラー】 ②高ストレス者の対応について 講 師：産業保健相談員 藤井 由里【精神保健福祉士、臨床心理士】	職場のメンタルヘルス対策は万全ですか。今回は、メンタル不調者や高ストレス者への対応について研修します。	20名

## 5月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
5月8日(火) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	<b>労働衛生対策等研修</b> テーマ：メンタルヘルス対策2 「外部支援機関の活用」 ①岩手県精神保健福祉センター 講 師：上田 光世【心理判定員】 ②岩手障害者職業センター 講 師：山口 優子【主任障害者職業カウンセラー】 ③意見交換会	メンタル不調等で休職している方の職場復帰対策などを行なっている外部支援の活用について、ご説明いたします。	20名
5月28日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 810研修室	<b>カウンセリング研修Ⅰ</b> テーマ：メンタルヘルスと職場のコミュニケーション 「人との交流を効果的にする方法」 講 師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	4回シリーズの1回目です。コミュニケーションで交流を深めるにはどうしたら良いか研修します。	20名

## 6月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
6月11日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 810 研修室	<b>カウンセリング研修Ⅰ</b> テーマ：メンタルヘルスと職場のコミュニケーション 「コミュニケーションを阻害する問題を見つけよう」 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	4回シリーズの2回目です。コミュニケーションを阻害する要因について研修します。	20名
6月15日(金) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802 会議室	<b>労働衛生対策等研修</b> テーマ：職業性疾病を防止するには ①粉じん障害の予防について 講師：産業保健相談員 中屋 重直 【認定産業医、労働衛生コンサルタント】 ②熱中症の現状と予防対策について 講師：産業保健相談員 立身 政信 【岩手県予防医学協会 部長 医学博士】	粉じん障害の予防対策は万全ですか。熱中症対策はお済みですか。今回は、二つのテーマで職業性疾病対策について研修します。	20名
6月20日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 810 研修室	<b>労働衛生対策等研修</b> テーマ：ストレスチェック制度1 ①就業規則等の見直し、整備 ～ストレスチェック制度規定作成のポイント～ 講師：佐々木 誠【社会保険労務士】 ②労働者のセルフケアの進め方について 講師：産業保健相談員 藤井 由里【精神保健福祉士、臨床心理士】	ストレスチェックの規定作成で悩んでいませんか。今回は、規定作成のポイント及びセルフケアの進め方について研修します。	20名
6月27日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802 会議室	<b>労働衛生対策等研修</b> テーマ：ストレスチェック制度2 ①ストレスチェックの進め方 講師：産業保健相談員 山田 恵子【看護師、産業カウンセラー】 ②集団分析結果に基づく職場環境改善 講師：産業保健相談員 藤井 由里【精神保健福祉士、臨床心理士】	ストレスチェック制度についてご不明な点はありませんか。今回は、ストレスチェックの進め方と、集団分析結果に基づく職場環境改善をテーマに研修します。	20名
6月30日(土) 14:00~16:00 盛岡 岩手県医師会館 4Fホール	<b>産業医研修</b> テーマ：産業医制度に係る安全衛生関係法令の改正について ①産業医制度について ②産業医に係る法令の改正について 講師：岩手労働局健康安全課	<b>認定産業医限定</b> の研修会です。	50名

(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。当センターのホームページでご確認ください。

## 2. 研修会の様子

1月以降に開催した研修会の様子です。



労働衛生対策等研修(30. 1. 19)

テーマ：精神障害の対応1(基礎編)

産業保健相談員 青木 慎一郎 先生による研修の様子です。



産業医研修(30. 2. 10)

テーマ：職業性疾病対策

産業保健相談員 立身 政信 先生による研修の様子です。



カウンセリング研修(30. 3. 5)

テーマ：コミュニケーションスキルの習得「傾聴」(その5)

産業保健相談員 今松 明子 先生による研修。ワークの様子です。

## 3. ご利用案内

■ 「**岩手産業保健総合支援センター**」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)

メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスしております。お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と職業生活の両立支援**」をご利用ください。

「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。出張相談窓口も開設しております。お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**産業保健関係助成金**」をご利用ください。

平成29年度から「産業保健関係助成金」のメニューが拡充されました。詳しくは、[「産業保健関係助成金」](#)で検索してください。

岩手産業保健総合支援センター  
電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367  
URL <http://www.iwates.johas.go.jp/> E-mail iwate@iwates.johas.go.jp



■ 「**地域産業保健センター**」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。

また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行っています。

お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

【地域産業保健センター 一覧】

□盛岡地域産業保健センター	020-0013	盛岡市愛宕町18-6 盛岡市医師会内	019-654-2164
□宮古地域産業保健センター	027-0061	宮古市西町1-6-2 宮古市医師会内	0193-62-5880
□釜石・遠野地域産業保健センター	026-0034	釜石市中妻町3-6-10 釜石市医師会内	0193-23-9966
□遠野窓口	028-0522	遠野市新穀町1-11 とぴあ2階 遠野市医師会内	0198-62-9182
□花巻地域産業保健センター	025-0075	花巻市花城町3-3 渡邊花巻ビル2階 花巻市医師会内	0198-22-3881
□一関地域産業保健センター	021-0884	一関市大手町3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル5F 一関市医師会内	0191-23-5110
□気仙地域産業保健センター	022-0003	大船渡市盛町字内ノ目6-1 気仙市医師会内	0192-27-6700
□二戸・久慈地域産業保健センター	028-6101	二戸市福岡字八幡下11-1 二戸市総合福祉センター 二戸市医師会内	0195-23-4466
□久慈窓口	028-0056	久慈市中町1丁目37番地久慈市役所便所2階 久慈市医師会内	0194-53-0114